



# ひろげようHMネット —参加医療機関の声—

## INTERVIEW

小園内科・循環器科 小園 亮次 先生

### AIが支える胸部X線診療 ～循環器診療の現場に広がる新たな支援～

#### ●循環器診療の中での胸部X線の役割

当院は循環器内科、呼吸器内科を標榜し、息切れや胸痛などの症状を訴える患者さんや、高血圧など生活習慣病の患者さんを中心に診療しています。

循環器内科医として、これまで胸部X線は心拡大や肺うっ血の評価を中心に見てきました。しかし最近、肺炎や肺がんを見つける検査としての重要性も強く感じています。



#### ●HMネット参加のきっかけ

AI胸部X線画像診断支援システムの存在でした。「胸部XPの診断支援AIに惚れたからです」これに尽きます。

#### ●すべての胸部写真をAIで確認

現在は撮影したすべての胸部写真をAI胸部X線画像診断支援システムに供しています。胸部写真の撮影は1日最大でも限られた件数であり、全例にAIを併用する運用が可能です。

AIを併用することで診療への影響は大ありです。実際に、AIで異常を指摘されたことをきっかけにCTを撮影し、肺がんが発見された症例もあります。一方で、怪しい所見があっても、実際には問題がないことの方が多いのも現実です。紹介してCTを撮るかどうか迷う場面もありますが、AIでも陽性所見があれば、自信をもって紹介状を書くことができます。

#### ●健診でも活用

日常診療に加え、三原市の基本健診でもAI胸部X線画像診断支援システムを活用しています。多数の健診を実施しているわけではありませんが、日常診療と同様の流れで運用しています。

#### ●経済的で現実的な選択肢

HMネットで利用できるのは大変経済的だと感じています。AI支援プログラムを自院システムにインストールする方法もあり、100万円単位の費用がかかっても価値があるのではないかと考えていました。しかし、HMネットの利用で完全に事足りたので、本当に良かったと思っています。

HMネットに参加する際に独立したパソコンの準備やネット接続にはやや戸惑いましたが、サポートに助けられました。

自院画像をUSBで保存し、それをHMネットに送る操作には多少手間があります。現在は看護師が対応してくれており助かっていますが、もう少し簡便にデータを送れるようになれば、より使いやすくなると思います。将来的にはCRシステムに搭載できれば、さらに便利になるでしょう。

●これから利用を検討される医療機関へ

今後、画像診断はAIなしではやっていけなくなるでしょう。このような支援ツールがあるのに、丸腰で診断の責任を負う必要はないと思います。

AI胸部X線画像診断支援システムは、胸部X線読影の在り方を変えるゲームチェンジャーだと思います。

**小園内科・循環器科**

〒723-0014

広島県三原市城町2丁目2-1 第2勝原ビル2F

TEL：0848-62-7525 / FAX：0848-62-7526



**広島大学病院がHMカードによる診療情報の開示を開始しました！**

広島大学病院では、令和8年2月より、HMカードを利用した診療情報開示の運用を開始しました。これまで使用していた「診療情報開示カード」に代わり、今後は「HMカード」での発行となります。なお、これまでに発行した診療情報開示カードにつきましても、引き続きご利用いただけます。

HMカードの発行受付および名寄せは、診療棟1階 中央受付 地域連携窓口 (①・②窓口) にて受け付けています。また、広島大学病院は紹介・予約申込書でHMカードの発行希望を申し込むことができます。

詳しくは広島大学病院のホームページをご参照ください。

<https://www.hiroshima-u.ac.jp/hosp/sinryoka/chuoshinryo/shien/syokai>

あわせて、広島大学病院では令和6年11月より医用画像の開示も開始しております。開示対象は以下のとおりです。

| 名 称      | 内 容 | 名 称     | 内 容 |
|----------|-----|---------|-----|
| CT       | CT  | MR      | MR  |
| 一般撮影     | DX  | 核医学検査   | NM  |
| PET/CT検査 | PT  | 透視      | RF  |
| 血管造影の透視  | XA  | マンモグラフィ | MG  |
| 骨塩定量     | OT  | 歯科撮影    | IO  |
| 一般撮影     | CR  | 歯科パノラマ  | PX  |